



平成 29 年 3 月 30 日

各 位

会社名 : 株式会社UKCホールディングス
(コード: 3156 東証第一部)
代表者名: 代表取締役社長 福寿 幸男
問合せ先: グループ執行役員
経営企画部門長 大澤 剛
(TEL: 03-3491-6575)

当社子会社による香港 Quatius Limited の転換社債取得に関するお知らせ

当社は、平成 29 年 3 月 30 日開催の取締役会において、当社の 100%子会社である UKC ELECTRONICS (H.K.) CO., LTD. (以下、「UKC 香港」という) が Quatius Limited (香港、代表 Zeng Wu Jiang、以下、「Quatius 社」という) の転換社債を取得すること (以下、「本件」という) を決議しましたので、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 本件の目的

当社グループは、中期ターゲットである連結営業利益率 3%、ROE10%を達成すべく、ソニー製の半導体・電子部品事業を軸とし、自社工場における EMS (電子機器受託製造サービス) 等の高付加価値事業の拡大、取扱い製品の拡張、新規事業の創出に注力しております。

Quatius 社は、液晶テレビやデジタルサイネージシステムの開発、製造、販売を行っており、インターネット接続等の付加価値をもつスマートテレビの草分け的存在です。特にオーストラリアにおいては SONIQ ブランドを展開し、高いシェアを獲得しています。また、製品の売り切りに留まらず、販売後の製品に対するインターネット接続やコンテンツ配信等のサービス事業も行っており、今後、製品事業とサービス事業の両輪展開により、オセアニアでの一層の売上拡大や中国、米国での事業拡大を企図しています。

Quatius 社の主力製品・サービスは以下の通りです。

a) マルチメディア対応スマートテレビ

世界中で従来型テレビからスマートテレビへの切り替えが急速に進んでいますが、Quatius 社は 2011 年より世界トップクラスのマルチメディア対応力と最新の Android OS をベースとした自社開発のスマートプラットフォームを有する Cina Vision という独自の動画配信サービスを展開しています。中国最大手のひとつであるコンテンツサプライヤーとの協業によりユニークなコンテンツを提供するとともに、Netflix、YouTube 等の最新のコンテンツサービスにも接続可能であり、モバイル機器との接続が容易な最新の Google Chromecast にもいち早く対応しています。

b) サイバーキャスト

デジタルサイネージは、視認性や訴求力の高い PID (パブリックインフォメーションディスプレイ) にインターネットを組み合わせるにより、従来と比較して費用対効果の高いマーケティングが行えることから、その市場は世界的に急成長しています。Quatius 社の提供するデジタルサイネージシステム (サイバーキャスト) は、あらかじめ数多くのテンプレートが用意されており、顧客が自由に作成、編集したコンテンツ (動画や画像、ド

キュメント等のあらゆるフォーマットの広告や伝達事項)を自由に設定した配信方法やスケジュールで配信出来る画期的なものです。また、タッチパネルや双方向コミュニケーションシステムにも対応しており、オフィスビルや野球、サッカースタジアム、大手旅行代理店等の広告表示だけではなく、大手ファーストフードチェーン店の自動オーダーや店内の顧客サービス用としても重用されるなど、その用途は限りなく広がっていくことが予想されます。これらのスマート機能を使ったインターネット商品は基本的に全てのハードウェア、ソフトウェアプラットフォームに標準化された形で組み込まれており、それぞれお求めやすい価格で購入、購読が可能になっております。

当社グループは、液晶パネルの販売や商品企画・開発のサポート等で、Quatius社と戦略的互恵関係を構築してまいりましたが、今般、当社グループの高付加価値事業拡大と中期ターゲット実現のための有力な選択肢として、同社の転換社債を取得することで合意いたしました。Quatius社の転換社債を引き受けることで、以下の通り、同社成長の成果を享受することが出来ると考えております。

a) Quatius社への売上高を拡大させる

Quatius社の財務的基盤を堅固にすることで、同社の成長戦略の実現がより確実なものとなり、それが、当社グループから同社への販売拡大につながる

b) 転換権行使によりQuatius社を当社の連結子会社とすることが可能となる

- ・Quatius社を連結子会社化することで、同社の業績成長を取り込む
- ・物販を超えた高付加価値なソリューション事業として、Quatius社の製品事業とサービス事業を当社の事業ポートフォリオに加える

2. Quatius社の概要 (2017年3月1日現在)

(1) 名称	Quatius Limited		
(2) 所在地	Unit 2605, 26/F Greenfield Tower, Concordia Plaza, 1 Science Museum Road, Tsim Sha Tsui, Kowloon, Hong Kong		
(3) 代表者の役職・氏名	Zeng Wu Jiang, Chairman		
(4) 事業内容	液晶テレビの開発、製造、販売		
(5) 資本金	20,000 千香港ドル		
(6) 設立年月日	2002年12月27日		
(7) 大株主及び持株比率	Zeng Wu Jiang 100% 本転換社債の全額転換後の持株比率 (予定) UKC香港 51%、Zeng Wu Jiang 49%		
(8) 上場会社と当該会社との間の関係	資本関係	該当なし	
	人的関係	該当なし	
	取引関係	子会社のUKC香港がQuatius社に液晶パネルを販売	
	関連当事者への該当状況	該当なし	
(9) 当該企業の最近3年間の経営成績及び財政状況	(千香港ドル)		
	2014年12月期 (監査済み)	2015年12月期 (監査済み)	2016年12月期 (監査前)
総 資 産	825,291	558,178	959,699
純 資 産	48,160	▲141,365	▲129,781
売 上 高	708,688	504,504	711,073
営 業 利 益	▲10,612	▲157,331	49,617
当 期 純 利 益	▲50,423	▲189,525	11,583

Quatius社は、2015年12月期は急激な為替変動を主要因とする売上高の低下や為替差損により一時的に業績が悪化、債務超過となりましたが、再度同様なことが起こらないように企業体質強化に取り組み、製品の価格競争力の強化及び低コストオペレーションを実現することによって、2016年12月期には操業度の回復、業績の向上を果たしております。また、2017年は、オーストラリアにおいて相当規模の供給契約を締結するなど前年を大きく上回る業績向上が見えております。中期的には、高付加価値モデルへのシフトや顧客が実行したM&Aに伴

うオセアニアのテレビ市場におけるシェア拡大に加え、中国をはじめとしたデジタルサイネージビジネスの拡大も見えていることから、更なる業績の拡大が期待できます。

本件転換社債の取得により、当社グループが商品企画・戦略、在庫や収支の管理等の分野で、より深く Quatius 社に關与することが可能となり、同社がその強みを生かせる経営体制を築くことに資する財務面に留まらない幅広い当社グループのサポートが、同社の中期的な成長戦略の実現確度を向上させるものと考えております。

3. UKC香港の概要

(1) 名称	UKC ELECTRONICS (H. K.) CO., LTD.
(2) 所在地	Room 804B, 8/F, Tower 1, Cheung Sha Wan Plaza, No. 833 Cheung Sha Wan Road, Kowloon, Hong Kong
(3) 代表者の役職・氏名	董事長総経理 河端 敬一
(4) 事業内容	半導体及び電子部品事業
(5) 資本金	25,262 千米国ドル
(6) 設立年月日	1993年1月5日
(7) 大株主及び持株比率	当社(株式会社UKCホールディングス) 100%

4. 転換社債の内容

(1) 取得価額	100 百万米国ドル
(2) 利率	ゼロ
(3) 期間	5年
(4) 償還時期	期間満了時または Quatius 社が本契約に違反した場合等
(5) 物上担保	中国、オーストラリアにおける資産(土地、建物、設備等)
(6) 転換時期	発行時から期間満了時まで
(7) 転換価格	1株あたり 4,803,921.5 米国ドル(予定)
(8) 全額転換後の株式数	20,816,327 株(予定)
(9) 全額転換後の持株比率	51%(予定)

本転換社債価額につきましては、中期事業計画を含め、適正なデュー・ディリジェンスに基づいて、第三者機関が算定した企業価値、株主価値を参考にしております。

また、本転換社債取得につきましては、Quatius 社の財務的基盤のサポートを目的としており、UKC香港が有する同社への売上債権等と相殺することで、同社がそのキャッシュフローを成長のために活用することを可能にするものであり、実際の払い込みはございません。

5. 日程

当社取締役会における本件決議	平成29年3月30日
UKC香港と Quatius 社間の転換社債取得契約等の締結	平成29年3月30日(予定)
UKC香港による Quatius 社の転換社債取得	平成29年3月31日(予定)

6. 今後の見通し

当社としましては、Quatius 社のテレビ事業運営への關与を強めるとともに、同社のコーポレートガバナンス強化や事業計画進捗の確認を行い、しかるべきタイミングにおいて、本転換社債を株式に転換、Quatius 社を連結子会社化し、上述の各種メリットを獲得することも視野に入れております。

なお、本件が当社の連結業績に与える影響につきましては、当期は軽微であり、来期に關しましては、見積もれた段階で、速やかにお知らせいたします。また、本件全般につきましても、その進捗に応じて、適時適切に開示してまいります。

以上